

岐阜県池田町  
デジタル田園都市国家構想総合戦略

令和8年3月

岐阜県池田町

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 第1章 岐阜県池田町デジタル田園都市国家構想総合戦略の<br>基本目標と改訂方針  | 1  |
| 第2章 池田町が取り組む具体的プロジェクト                     | 4  |
| 1. 町民と役場が協力し、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組む         |    |
| 2. 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける             |    |
| 3. 町民が町に愛着を持ち、PR できるようになることで、新しいひとの流れをつくる |    |
| 4. 若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる                    |    |
| 5. 中高生と社会をつなぐなど、時代にあった地域を作る               |    |
| 6. 広域連携により圏域の新たな魅力をつくる                    |    |
| 第3章 おわりに                                  | 27 |

## 第1章 岐阜県池田町デジタル田園都市国家構想総合戦略（以下「デジ田構想総合戦略」）の基本目標と改訂方針

令和元年度までに実施した事業の中で、未達成の数値目標があることから、第1期岐阜県池田町版地方創生総合戦略（以下「第1期総合戦略」）の取り組みの継続を図りつつ、国の地方創生関係の交付金（デジタル田園都市国家構想交付金）、企業版ふるさと納税の活用など財源の確保に努めながら、より効果的な取り組みを進めます。

第1次総合戦略の検証で挙げた課題を解決し、第六次総合計画に掲げる「ぬくもりあふれるまち池田町」を実現するには、町民と役場の対話、協働によるプロジェクトの企画、実施が不可欠です。このため、町民と役場がお互いの強みを発揮しながら、まちづくりを進めます。プロジェクトの実施にあたって、役場は、部署の垣根を越え、横断的に取り組むことが重要です。

また、令和4年6月には国が「デジタル田園都市国家構想基本方針」（以下「デジ田構想基本方針」）を示し、令和5年3月に岐阜県は国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を勘案した「清流の国ぎふ創生総合戦略」を改定しています。池田町においても国・県の改訂方針・内容を鑑みて、令和5年9月に第2期岐阜県池田町版地方創生総合戦略（以下「第2期総合戦略」）の改訂を行いました。

今回の改定では、前回令和7年3月改定の地域防災力の向上、子育て環境の整備に加え、上下水道、道水路のインフラ整備、脱炭素に向けたまちづくり、池田山麓にかかる総合的・一体的観光利用を新たに追加し、見直しを行います。

### 主な改正内容

- ・基本目標1を「町民と役場が協力しながら、まちづくりに取り組む」から「町民と役場が協力し、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組む」へ修正。
- ・上下水道施設整備・道水路整備等のインフラ関係、脱炭素に向けたまちづくり、多文化共生社会の地域づくりについて基本目標1に追加。池田山麓にかかる総合的・一体的観光利用を基本目標3に追加。
- ・令和8年3月31日にレンタサイクル事業の廃止に伴い、基本目標6の中の「揖斐池田サイクルトレイン日本一への挑戦プロジェクト」を削除します。

主な改訂内容を踏まえた基本目標とプロジェクトは以下のとおりです。

#### 基本目標1 町民と役場が協力し、安心・安全に暮らせるまちづくりに取り組む

令和42年（2060年）に池田町の人口13,046人（令和2年：23,360人）

※総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口推計」、岐阜県提供データより

<プロジェクト>

- ① 町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト
- ② 地方創生プロジェクト推進助成金事業の実施
- ③ 町民と役場で地域を守る「地域防災力」向上活動

- ④ だれもが安心してきれいな水と排水施設を利用できるまちづくり
- ⑤ 道水路等の整備による豊かな住環境づくり
- ⑥ 脱炭素に向けたまちづくり
- ⑦ 多文化共生社会の地域づくり

#### 基本目標2 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける

令和9年の町内従業者数 7,950人（令和5年：8,362人）

※総務省・経済産業省「令和3年経済センサスー活動調査」より

＜プロジェクト＞

- ⑧ 企業誘致計画の立案

#### 基本目標3 町民が町に愛着を持ち、PRできるようになることで、新しいひとの流れをつくる

令和9年の池田町の観光客数 64万2,000人（令和5年：58.4万人）

※岐阜県「令和5年岐阜県観光入込客統計調査」市町村別集計より

＜プロジェクト＞

- ⑨ 「いい塩梅のまち」池田山を活用した体験交流ツアーの実施
- ⑩ ONSEN ガストロノミーウォーキング事業
- ⑪ 池田高校と連携した「池田イケてんだプロジェクト」
- ⑫ 移住者向けの情報発信及び町内空き家の利活用
- ⑬ 池田山麓にかかる総合的・一体的観光利用

#### 基本目標4 若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる

令和12年までに、合計特殊出生率 1.53 を実現（平成30年～令和4年：1.23）

令和12年までに、婚姻率 5.1% を実現（令和6年：2.0%）

※「平成30年～令和4年 人口動態保健所・市区町村別統計の概況」、「西濃地域の公衆衛生 2023」より

※令和12年の目標達成に向け、計画期間中においても、合計特殊出生率及び婚姻率の進捗状況を確認する

＜プロジェクト＞

- ⑭ 結婚新生活支援事業
- ⑮ 子育ても仕事も！希望を叶える環境整備

#### 基本目標5 中高生と社会をつなぐなど、時代にあった地域をつくる

令和2年→令和12年の10～30代の社会増減数±0人

＜プロジェクト＞

- ⑯ 職業体験・キャリア教育を通じて、児童生徒の郷土愛を育む
- ⑰ 「達人から学べ！」町の達人と町民の交流の場づくり
- ⑱ 街を明るくするプロジェクト
- ⑲ ライフサポート強化事業

**基本目標 6 広域連携により圏域の新たな魅力をつくる**

令和9年の西濃圏域における観光客数 709万人（令和5年：645.4万人）

※岐阜県「令和5年岐阜県観光入込客統計調査」より

＜プロジェクト＞

- ⑳ 国内海外観光誘客プロジェクト事業
- ㉑ 西美濃地域定住促進PR事業
- ㉒ 大垣地域経済戦略推進事業

## 第2章 池田町が取り組む具体的プロジェクト

### 1. 町民と役場が協力しながらまちづくりに取り組む

#### ① 町民と役場をつなぐ「まちづくり工房」プロジェクト



#### 【背景】

2015年度より町民参加型ワークショップ「池女会」や「アイデア工房会議」を開催し、“町民と役場の協働によるまちづくり”を進め、地方創生総合戦略に位置付けた各プロジェクトを実施しています。町民と役場の対話、協働により進められた各プロジェクトは、町民に喜んでいただける質の高い成果を生み出すことができました。この流れを加速化・継続するために民間のなかから町民と役場をつなぎ、まちづくりを実施するコーディネーター（地方創生人材/指定管理者）を確保・育成する必要があります。

#### 【実施内容】

- 1) コーディネーター（指定管理者）は、池野駅駅舎を拠点として、町民の声を聴き、町民と役場の橋渡しをしながら、自らの独自イベントの開催及び町内の活動団体やイベントの支援をします。
- 2) まちづくり工房「霞溪舎」の利用者・利用率増加に向けPR活動を実施します。
- 3) 池野駅が中心となって、町の賑わいの創出を進めます。

#### 【解決した姿】

##### 〔概要〕

池野駅が中心となって、周囲の医療モールや商店街を含めた町の賑わいの創出が期待できます。まちづくり活動団体やイベントが活性化し、賑わいがある町になります。

#### 【KPI】

| 指標項目                                 | 基準値（R5） | 目標値（R9） |
|--------------------------------------|---------|---------|
| ①コーディネーター（指定管理者）が支援したまちづくり活動団体・イベント数 | 3件      | 6件      |

## ② 地方創生プロジェクト推進助成金事業の実施



### 【背景】

平成 29 年度より、町民主体による事業で、総合戦略に位置づけられた事業に対して助成する制度を実施しています。第六次総合計画においても重点目標として地方創生の拡大と醸成が位置づけられていることから、今後も継続して支援を実施していきます。

### 【実施内容】

- 1) 町民主体の事業で、デジタル構想総合戦略に位置づけられた事業等に対して、町からの助成事業を実施します。デジタル技術を活用した地域活性化事業に関する評価項目も設け、これまでにない取り組みを支援していきます。
- 2) まちづくり工房「霞溪舎」の指定管理者は助成金対象事業を支援します。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

町民と役場が協働し、最終的には町民主体のまちづくり団体として地方創生事業に取り組んでいきます。さらには NPO 法人などの法人格を持った団体の活動として拡大していきます。

### 【KPI】

| 指標項目         | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|--------------|----------|----------|
| ①町が支援した団体数   | 1 件      | 3 件      |
| ②町内の NPO 法人数 | 7 件      | 15 件     |

### ③ 町民と役場で地域を守る「地域防災力」向上活動



#### 【背景】

池田町では平成 18 年度より地域の自主防災力の向上と環境整備の観点から自主防災組織の組織化費用や防災備蓄品・資材購入、自主的な防災研修や訓練の経費に補助を実施しています。池田町では自治会ごとに 46 組織の自主防災組織が存在し、地域内での「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感の醸成の一翼を担っています。

#### 【実施内容】

- 1) 町民が主体となって行う地域防災力向上に資する活動の補助、支援を行います。
- 2) 地域の防災拠点となる公民館・施設の新設や改修、防災等資材の整備を行います。
- 3) 地域防災リーダーとなり得る防災士の資格取得補助、消防団員の確保や運営活動への支援を行います。

#### 【解決した姿】

##### 〔概要〕

町民と役場が協働し、地域が主体的に考え活動を行う自主防災組織として地域内での防災意識の向上に取り組んでいきます。また地域内に防災士等の地域防災リーダーを担う人材が存在し、主導的に地域防災力向上に取り組んでいきます。

#### 【KPI】

| 指標項目             | 基準値 (R6) | 目標値 (R9) |
|------------------|----------|----------|
| ①自主防災組織補助金の利用率   | 45.65%   | 100%     |
| ②池田町内の防災士有資格者の人数 | 58 名     | 100 人    |

#### ④ だれもが安心してきれいな水と排水施設を利用できるまちづくり



##### 【背景】

住民の暮らしを支えるうえで上水道は欠かすことのできない大切なライフラインです。水を安全で美味しく、安定的に供給することが求められるため、老朽施設の更新や耐震化を計画的に進めていきます。

また、地域環境の保全、快適な生活環境の確保、公衆衛生の向上を実現するうえで重要な役割を担う下水道施設についても、長寿命化対策とともに、人口減少等によって厳しくなった経営状況の改善に向け、経営の改善に取り組みます。

##### 【実施内容】

- 1) 安全で安定した水の供給を行うため、老朽化した配水管等の更新と併せて、主要な管路の耐震化を図ります。また水道水質の監視と、上水道施設の適正な維持管理を行います。
- 2) 河川等の汚染防止のため合併浄化槽設置に対し、補助金を交付します。(但し下水道認可区域を除く。)
- 3) 公共下水道事業計画区域内における管渠整備を計画的に実施し、処理場への流入量増加に伴い浄化センターの増設を行います。また、老朽化した下水道施設を計画的に更新します。
- 4) 公共用水域の水質保全に資するため、農業集落排水処理施設の適正な管理を行います。
- 5) 持続可能な企業経営を行うため、企業会計の財務書類を作成し、資産や負債を適正に把握するとともに効率的な財政運営に努めます。

##### 【解決した姿】

###### 〔概要〕

老朽化した配水管の更新により、水漏れや破裂のリスクが大幅に低減し、水資源の無駄な損失が防がれています。同時に、主要な管路の耐震化によって、地震などの自然災害時でも水道システムの機能が維持され、緊急時の生活用水や消火用水の確保が可能となります。

合併浄化槽設置への補助金交付により、下水道未整備地域での水質改善が進みます。また、公共下水道の計画的な整備により、より多くの地域で衛生的な生活環境が実現します。老朽化施設の更新により、システムの安定性と効率性が向上します。

【KPI】

| 指標項目             | 基準値 (R6) | 目標値 (R9) |
|------------------|----------|----------|
| ①上水道管路の更新率       | 1.48 %   | 2.20%    |
| ②浄化槽設置整備補助金の交付件数 | 6 件      | 10 件     |
| ③公共下水道の接続率       | 56.3%    | 60.0%    |
| ④農業集落排水の接続率      | 90.8%    | 92.0%    |

## ⑤ 道水路等の整備による豊かな住環境づくり



### 【背景】

近年の気候変動による豪雨の増加や、地震などの自然災害リスクの高まりを受け、災害に強い都市基盤の整備が求められています。町民が安心して暮らせるよう、適切な排水システムや耐震性の高い道路整備が必要です。また、高齢者や障がい者にも優しいバリアフリー道路整備や、歩きやすい歩道の設置など、すべての人が安全に移動できる環境づくりを目指します。

なお、適切に整備された道路や水路は、物流の効率化や観光振興にもつながり、地域経済の活性化に繋がります。

### 【実施内容】

- 1) 地区要望による道路改良工事、老朽化した生活道路の整備（道路・側溝・舗装等の改良工事、維持補修）を行います。
- 2) 社会資本整備総合交付金等を活用し、町内幹線道路の整備を行います。
- 3) 既設橋梁の長寿命化のため、5年毎に橋梁点検を実施します。点検結果に基づき、補修及び架替えを実施します。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

地域の生活基盤が強化され、安全性と利便性が向上します。そして住民の満足度が向上し、地域の魅力が高まることで、人口流出の抑制や新たな移住者の増加にもつながります。さらに、効率的な道路ネットワークの構築により、地域経済の活性化や災害時の迅速な対応が可能となり、持続可能な地域づくりが実現します。

### 【KPI】

| 指標項目              | 基準値 (R6) | 目標値 (R9)<br>累計 |
|-------------------|----------|----------------|
| ①道路維持補修の件数        | 14 件     | 36 件           |
| ②道路改良工事の件数        | 12 件     | 21 件           |
| ③橋梁点検の件数          | 16 件     | 42 件           |
| ④橋梁修繕にかかる工事・業務の件数 | 1 件      | 12 件           |

## ⑥ 脱炭素化に向けたまちづくり



### 【背景】

国の目標である2050年カーボンニュートラルに向けて、ごみの減量化とリサイクル推進、再生可能エネルギーの導入により脱炭素化を目指します。

### 【実施内容】

- 1) ごみの減量化とリサイクルセンター活用推進の啓発を行います。
- 2) 公共施設への再生可能エネルギーの導入、各家庭や事業所への再生可能エネルギーの導入促進を行います
- 3) 電動車の普及促進を行います。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

環境負荷の小さい循環型社会が確立され、廃棄物の発生を最小限に抑え、リサイクル化が徹底されます。また、再生可能エネルギーが主要な電力供給源となり、化石燃料への依存が低下します。

### 【KPI】

| 指標項目                       | 基準値 (R6) | 目標値 (R9) |
|----------------------------|----------|----------|
| ①家庭より排出される1人1日当たりの可燃ごみの排出量 | 556g     | 550g     |
| ②リサイクル資源の年間排出量             | 850t     | 860t     |

## ⑦ 多文化共生社会の地域づくり



### 【背景】

町では、毎年約 100 人の外国人町民が増加しており、令和 7 年 4 月 1 日現在では 780 人の外国人が生活しています。この状況を背景に、さまざまな国から移住してきた方々が安心して暮らせる環境を整備し、多文化共生社会の地域づくりを目指しています。

### 【実施内容】

- 1) 町職員や町民へ、「やさしい日本語」の普及啓発し、窓口対応や防災情報を伝える際に使用できる環境を整えます。
- 2) 社会保障制度の加入やサービス利用の案内に「やさしい日本語」や多言語翻訳機を活用します。
- 3) 地域住民と外国人町民が交流する場として「日本語ひろば」を開催します。ここでは、実生活で役立つ日本語や生活に必要な知識（ゴミの分別、健康管理、けがへの対応など）を学べる教育プログラムを提供します。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

町内では、多様な文化や価値観を尊重し合う風土が根付き、イベントや地域活動では国籍に関わらず住民が参加し、異文化を楽しみながら学ぶ機会が増加します。

地域全体が「互いを理解し支え合う」理念を共有し、外国人住民と日本人住民が協力しながら町の活性化に寄与する持続可能な社会が構築されます。

### 【KPI】

| 指標項目    | 基準値 (R6) | 目標値 (R9) |
|---------|----------|----------|
| ①日本語ひろば | —        | 6回/年     |

## 2. 池田町に仕事をつくり、町民が安心していきいきと働ける

### ⑧ 企業誘致計画の立案



#### 【背景】

税込増および雇用の確保を目指す施策の1つとして、企業誘致は効果的です。これまでの企業誘致は、個別事案が浮上した際に、その実現を目指すという待ちの姿勢でしたが、今後は、積極的に企業に対して誘致を提案する必要があります。このため、企業のニーズや誘致が可能な土地情報等を把握、整理し、誘致計画を立案します。また、ドローンを活用した空撮を用いて、土地のより分かりやすい可視化を図り、企業への説明等に役立てていきます。

#### 【実施内容】

- 1) 町が企業誘致へ向けた各種施策（企業が求める情報の収集、国や県の施策の把握、国や県と協力した誘致予定地の検討、地権者への交渉など）を実施します。
- 2) 工場等設置奨励金・雇用促進奨励金の交付により、企業の設備投資を促し、事業拡張の支援をします。

#### 【解決した姿】

##### 〔概要〕

町が、積極的に誘致活動を行うことで、企業が池田町に移転し新規雇用が生まれています。

#### 【KPI】

| 指標項目                | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|---------------------|----------|----------|
| ①町事業として積極的に誘致活動を行う  | 10件      | 10件      |
| ②企業が移転し、新規雇用が発生している | 累計2社     | 累計4件     |

### 3. 町民が町に愛着を持ち、PR できるようになることで、新しいひとの流れをつくる

#### ⑨ 「いい塩梅のまち」池田山を活用した体験交流ツアーの実施



#### 【背景】

池田山麓付近を中心として、サイクリングやパラグライダー、ブルーベリー摘みなどの体験型観光資源が点在します。しかし、桜の季節以外、休日の観光客数が落ち込んでおり、第1期総合戦略策定後より増加してはいますが、それでもなお、県内と比較して観光消費額が低くなっています（※）。今後、年間を通じて楽しめる体験交流ツアーづくりやガイド育成により、日帰り客の観光消費額の増加を目指します。

さらに近年、映画やアニメのモデル・ロケ地となった地域を巡る聖地巡礼などによる経済効果は大きなものとなっています。

令和元年、揖斐郡を中心に西濃地方で撮影された地方創生ムービー「ブルーヘブンを君に」が令和2年6月公開されました。これを期に撮影箇所であったロケ地をパンフレットにまとめました。そのロケ地マップを活用・PRすることで、観光・交流人口の増加につながります。

※1人当たり観光消費額（日帰り客）：3,805円（岐阜県）、3,132円（西濃地域）

（岐阜県「令和5年岐阜県観光入込客統計調査」）

#### 【実施内容】

- 1) 町民や民間企業と連携して、どの年代、どの地域の方をターゲットとするかを検討しながら、体験交流ツアーを企画・PRします。
- 2) 体験交流ツアーに必要なガイドを育成します。
- 3) 体験交流ツアーに必要な施設設備（体験交流施設、休憩所、トイレ、レンタサイクル、バーベキューハウス等）の整備・運営を進めます。特に、観光客で賑わう大津谷公園については、収益を上げる施設としてバーベキューハウスを運営します。また、大津谷公園の指定管理者と連携し、ネット予約の活用等、より便利に使ってもらえるよう取り組みます。
- 4) 観光客の利便性を向上させるため、町道や林道の整備をします。
- 5) 観光消費額を高めるため、町として統一的に、土産物商品のパッケージデザインを行い、池田の太鼓判として認定します。
- 6) 映画ロケ地マップの活用をします。

#### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

体験交流ツアーやイベントが実施され、交流人口が増加し、関係人口が創出され、町ににぎわいが生まれる。ツアー化することで、1人当たりの観光消費額が高まっています。また、観光情報のSNSでの発信や、インターネットを活用した大津谷公園の利用等により、特に若者に対して情報が周知でき、利用しやすく訪れやすくなります。

【KPI】

| 指標項目             | 基準値（R5） | 目標値（R9） |
|------------------|---------|---------|
| ①体験交流ツアーの実施数     | 1回      | 1回      |
| ②体験交流ツアー年間参加者数   | 80人     | 300人    |
| ③西濃地域1人当たりの観光消費額 | 3,132円  | 3,400円  |

## ⑩ ONSENガストロノミーウォーキング事業



### 【背景】

これまでも池田町を周遊してもらうためのガイドマップ、ウォーキング案内マップ等は制作し、周知してきたが、ONSENガストロノミーウォーキングのような“歩く”“食べる”“飲む”が一緒になったイベント開催はなく、池田町の景色や雰囲気、特産品を一度に楽しんでもらえるイベントとなる。また、「ONSEN」とあるように「温泉」に入って帰ってもらうまでを行程とするので、池田温泉のPRも同時にすることができる。

### 【実施内容】

- 1) 継続的に池田町に訪れ、関わってくれる人口（関係人口・池田町のファン）を増やすため池田町の景色、特産品を活用したウォーキングイベントを開催する。また、参加者には池田温泉に入ってもらえるように温泉入浴券も配布する。
- 2) 池田町内の特産品だけでなく、西濃圏域や友好都市の特産品も提供することで、広域的なPRの広がりを狙う。
- 3) 参加者には、自身のSNSアカウント（Twitter、Insutaguram等）で発信してもらえるような仕組みをつくり、参加者だけでなく、その周りにも広く池田町の魅力をPRする。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

池田町のファン・関係人口が増え、人の流れが生まれます。また、SNSをうまく活用することで、これまでにない情報（池田町の魅力）の広がりを見せます。

### 【KPI】

| 指標項目      | 基準値（R4） | 目標値（R9） |
|-----------|---------|---------|
| ①イベント参加者数 | 150人    | 150人    |
| ②参加者の満足度  | 100%    | 100%    |

⑪ 池田高校と連携した「池田イケてんだプロジェクト」



【背景】

池田町の人口動態をみると特に10代～30代の転出超過が多く、一度町外に出たら、戻らないケースが多くなっています。中学、高校の内から池田町の魅力や住みやすさを認識し、シビックプライド醸成のための町内への情報発信とこれまでも課題になっている町外への魅力発信を強化することが必要です。池田高校の生徒による“若い”目線を活かし、若者の情報取得ツールとしての“SNS”を活用した広く・効果的な情報発信を行うことが必要です。

【実施内容】

- 1) 池田町と池田高校による SNS 情報発信連携事業である「池田イケてんだプロジェクト」の実施。池田高校生の若い目線を活かした町内外への情報発信
- 2) スマートホンでできる“魅せる”動画の作成と発信による池田町の PR
- 3) 池田町の魅力紹介動画を作成し、デジタルサイネージ等で公開します。また、町の公式 Youtube や公式 SNS アカウトにも投稿し、広く周知する。動画の撮影にはドローン等のデジタル技術を活用し、高校生が主体となって作成します。

【解決した姿】

〔概要〕

池田町のことをあまり知らない・興味のない住民への積極的な情報発信によるシビックプライド醸成と、町外への情報発信により池田町に関心を持つ関係人口が増える。最終的に住みたい・住み続けたいと思ってもらえる町になります。

【KPI】

| 指標項目                  | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|-----------------------|----------|----------|
| ①池イケプロジェクト SNS 投稿いいね数 | 平均 17 件  | 平均 20 件  |
| ②10～30 代の人口増減数        | △113 人   | 20 人     |

## ⑫ 移住者向けの情報発信及び町内空き家の利活用



### 【背景】

若者を始め子育て世代に移り住みたいと思われるよう、池田町の良さやライフスタイルを魅力的に発信・PRしていく必要があり、交流人口⇒関係人口⇒移住人口につなげていくことが重要となっています。空き家を取得し定住した人や町外からの移住者を支援します。

また、年々増えている町内の空き家への対策として、町内不動産業者等と協力し、空き家バンクを設置し、空き家を有効に活用できる体制を整えます。

### 【実施内容】

- 1) 観光だけでなく、継続的に池田町に訪れ、関わってくれる人口（池田町のファン）を増やすための移住推進施策を行い、結果的に池田に移住し定住する人口を増やします。
- 2) 池田町へ移住し、空き家を取得した方に対する改修費の補助や、池田町外から移住のために新築住宅もしくは新築増築を行い、居を構えた者を対象とした移住奨励金制度を実施する。
- 3) 東京 23 区圏からの移住者の内、県が採用支援の対象とするマッチングサイトに掲載した求人に応募し採用された者（就業者）、もしくは岐阜県内で起業した者（起業者）、テレワークで地方移住をした者、地域に関わりの深い関係人口と認められた者に対して、移住支援金を給付します。
- 4) 「池田町空き家バンク」を設置し、運用します。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

池田町のファンが増え、人の流れが生まれ、最終的に移住人口が増加します。また、町内の空き家を活用することで、空き家の増加が抑えられます。

### 【KPI】

| 指標項目                    | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|-------------------------|----------|----------|
| ①空き家バンクの登録物件数           | 5件       | 5件       |
| ②移住定住支援制度を利用した池田町への移住件数 | 3件       | 累計 10件   |

⑬ 池田山麓にかかる総合的・一体的観光利用



【背景】

当町の西部一帯は、池田山に代表される丘陵地帯であり、濃尾平野を一望できるそのロケーションは近隣市町村在住者にとどまらず、東海地区はじめ関西・北陸などからも夜景や豊かな自然に触れようと多くの方に愛されています。この自然豊かで人が集まる絶好のビューポイントをさらに魅力的な場所にし、その過程でさらに多くの池田町の良さを掘り起こしてその魅力を増幅するには交流人口の増加が不可欠です。

池田山麓南西の玄関口に位置する池田温泉は非常に珍しい純重曹泉としてその名を知られているところですが、池田山麓全体の魅力をさらに高めるため、他の名所や施設などとタイアップしてその相乗効果を最大化することで交流人口の増加による関係人口の獲得、ひいては移住人口の増加につなげていくことが重要です。

そのため、池田温泉をさらに充実させ、既にお越しいただいたことがある観光客の皆さまはもちろん、潜在的観光客の皆さまに喜んでお越しただける施設整備が急務となっています。

【実施内容】

- 1) 当町の玄関口として、より魅力ある施設として町内外の潜在的利用者に対してアピールするため、池田温泉の積極的な施設整備を行うことで町内外の利用者増加を図る。
- 2) 池田温泉から北へ延びる「ふれあい街道」全体を活性化するには街道周辺施設とタイアップすることで事業効果の最大化を図る必要があるため、街道周辺施設等で構成される「ふれあい街道活性化協議会（仮称）」を立ち上げ、協働・共働体制を構築する。
- 3) 街道周辺で事業実施を希望する一定資本規模以下の法人・個人に向けたスタートアップ補助金を創設する。

【解決した姿】

〔概要〕

池田温泉を起点とするふれあい街道全体が活気を帯びた線となり、池田町全体を覆う面となることで、池田町全体が活気づくとともに、移住人口が増加する。

【KPI】

| 指標項目        | 基準値 (R6)   | 目標値 (R9)   |
|-------------|------------|------------|
| ①入浴者数       | 305,214 人  | 320,000 人  |
| ②入浴料による売り上げ | 147,992 千円 | 198,400 千円 |

#### 4. 若い世代の結婚・子育ての希望をかなえる

##### ⑭ 結婚新生活支援事業



##### 【背景】

池田町では様々な子育て支援施策を実施しています。手厚い子育てサポートが充実しているのですが、池田町の合計特殊出生率は令和4年時点で1.01と全国、県平均を大きく下回っている状況です。県主導の総合的な結婚支援に加え、市町村と連携し、取り組みを重点的に行うことが、不可欠となります。若い世代の結婚の後押しとなる事業が必要になります。また、結婚後は出産・子育てと不安なく進めるように既存の支援を引き続き実施していきます。

##### 【実施内容】

- 1) 所得要件、年齢要件を満たす新婚世帯に対して支援金を交付します。
- 2) 岐阜県及びぎふマリッジサポートセンターと連携し、制度の周知・情報提供を行います。

##### 【解決した姿】

##### 〔概要〕

支援金を受けたことにより、新生活の不安が解消される。その結果、妊娠・出産への意欲がわき、出生数の減少に歯止めをかけることができます。

##### 【KPI】

| 指標項目                              | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|-----------------------------------|----------|----------|
| ①支援をきっかけに結婚した世帯数                  | 4件       | 3世帯      |
| ②本事業アンケートによる「地域に応援されていると感じた世帯の割合」 | 100%     | 50%      |

⑬ 子育ても仕事も！希望を叶える環境・体制整備



【背景】

女性の年齢別就業率によると、25～34歳の就業率が落ち込んでおり、全国平均より低い数値となっています。

子育て中であっても働きたい、収入を増やしてもう1人子供を産みたいという希望を叶えるため、子育て支援、就労応援（町内の子育て応援企業とのマッチングや、スキルアップ講座の開催など）、多世代交流の機能を持つ、子育て・就労応援センターの運営及び設備の充実を図ります。また、子どもを安心して通園、通学させることができる保育園、学校の環境や施設整備を図ります。

また、子どもを産み育てやすい環境整備をすべく補助事業や支援体制作りを行います。

【実施内容】

- 1) 子育て・就労応援センターを運営及び設備の充実を図ります。
- 2) 保育園や学校の施設・環境整備の充実を図ります。
- 3) 未就学児から就学時までの子育て支援、町内の子育て応援企業とのマッチングやスキルアップ講座の開催などの就労応援、シニアクラブが行っている抱っこボランティアとの連携などの多世代交流を行います。
- 4) 子どもを産み育てやすい環境整備を行います。具体的には、小・中学校や保育園の給食無償化、子ども医療費の無償化、すくすく赤ちゃん券支給事業の交付など子育て支援施策等の充実を図ります。

【解決した姿】

〔概要〕

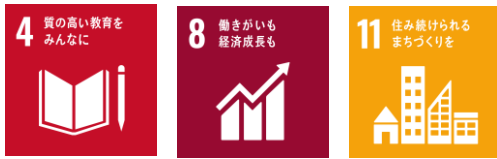
本施設を活用することで、子育て中の女性が、子供を産んでからも安心して働けるようになります。

【KPI】

| 指標項目                              | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|-----------------------------------|----------|----------|
| ①就労相談や再就職に有利な資格取得のための学習講座へ参加した人数  | 91人      | 50人      |
| ②本事業アンケートによる「地域に応援されていると感じた世帯の割合」 | 6人       | 累計10人    |

## 5. 中高生と社会をつなぐなど、時代にあった地域を作る

### ⑩ 職業体験、キャリア教育を通じて、児童生徒の郷土愛を育む



#### 【背景】

池田町の児童生徒から見て、自分の父母がどのような仕事をしているか知る機会がないという意見がありました。また、2019年に実施した町民アンケートでも、身近で目標とする大人がいてと思っている小中学生が少ない、地元で働きたい場所があると思っている若者が少ないという実態が分かりました。これは将来に子ども達が地元企業の魅力を知ることもなく、町外へ就職し、池田町に戻ってこないことを意味します。また、これまで町内で実施されてきたキャリア教育は、先生が中心となってきましたが、地元企業との連絡調整の負担が大きく、学校側と地元企業側とで目的の共有を十分に図れないこともありました。

そのため、職業体験、キャリア教育プログラムの作成、改善を通じ、子ども達が地元でいきいきと働く大人に触れることで、町内での就職率向上につなげることを目指します。

#### 【実施内容】

1) 中高生にとって魅力的な職業体験・キャリア教育プログラムを作成・実施します。

#### 【解決した姿】

##### 〔概要〕

専門のコーディネーターが、学校と企業の橋渡し役になり、より魅力的な職業体験、キャリア教育が行われています。企業にとっては、職業体験、キャリア教育を通じて、自社の魅力が子ども達に伝わります。これにより、将来、池田町で働きたいと思う若者が増えます。

#### 【KPI】

| 指標項目                       | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|----------------------------|----------|----------|
| ①コーディネーターが企業を訪問した数         | 68件      | 50社      |
| ②職場体験・キャリア教育プログラム受講生数      | 1179人    | 400人     |
| ③職場体験・キャリア教育プログラムへの受講生の満足度 | 87.30%   | 90%      |
| ④将来、池田町で働きたいと思う中3生の割合      | 9.8%     | 15%      |
| ⑤将来、地元に住みたいと思う中3生の割合       | 16%      | 25%      |

⑰ 「達人から学べ！」町の達人と町民の交流の場づくり



【背景】

町民同士のつながりが弱くなっている、既存の地域コミュニティには参加しづらいという意見がありました。そこで、体験、学習、文化という視点で、町民から様々な分野での達人を発掘し、達人と町民がふれあえる機会をつくります。

【実施内容】

- 1) 交流の場を作るための実行委員会を組織し、体験型のイベントなど達人と参加者との交流のきっかけとなるようなイベント企画・実施を行います。
- 2) 町内で既に行われている教室やイベントなどへの参加にもつながるような交流のきっかけを提供します。

【解決した姿】

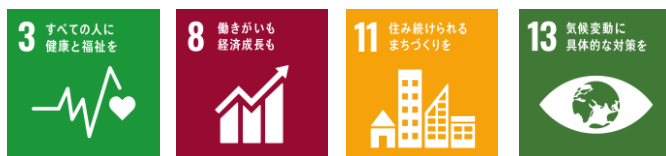
〔概要〕

町民間の交流が進み、いい人たちがいるからここに住みたい、居心地のいいまちになります。

【KPI】

| 指標項目                                   | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|--|----------|----------|
| ①体験学習プログラムの講座数                         | 6 講座     | 11 講座    |
| ②体験学習プログラムの参加者数                        | 102 人    | 250 人    |
| ③参加者のうち、達人が実施している教室やお店に、また行きたいと思った人の割合 | 89.60%   | 80%      |

## ⑩ 街を明るくするプロジェクト



### 【背景】

夜間、通学路・商店街・駅前などが暗く、安心・安全という点で不安があるという意見がありました。そのため、行灯やイルミネーション等を活用した町全体を明るくするイベントの実施、街のにぎわい、活性化を推進するイベント、周辺環境の整備を目指します。

### 【実施内容】

- 1) 町民が主体となって、イベント実施内容（時期、場所、手法など）の決定やイベント運営を行います。
- 2) 養老鉄道イルミネーションを活用したイベントの実施

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

夜間に明るい光で照らされた魅力的なまちになります。

### 【KPI】

| 指標項目                   | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|------------------------|----------|----------|
| ①街を明るくするイベント実施件数       | 1 件      | 2 件      |
| ②街を明るくするプロジェクトイベント参加者数 | 108 人    | 100 人    |

## ⑱ ライフサポート強化事業



### 【背景】

在宅生活において、掃除、草取り、買い物などで困っている高齢者等がいます。現在、地域のNPOがこういった方をサポートする事業を行っていますが、認知度において課題があります。今後、そのような活動の情報提供や参加呼びかけを進めます。

### 【実施内容】

- 1) 町は、民生委員や福祉委員、社会福祉協議会等と連携し、事業の周知およびサポーターの募集を支援します。

### 【解決した姿】

#### 〔概要〕

PRの結果、ライフサポート事業の利用者が増えます。高齢になっても、住み慣れた家で暮らし続けられる町になります。

### 【KPI】

| 指標項目            | 基準値 (R5) | 目標値 (R9) |
|-----------------|----------|----------|
| ① ライフサポートの利用時間数 | 703.5 時間 | 1,000 時間 |

## 6. 広域連携により圏域の新たな魅力をつくる

### ⑳ 国内海外観光誘客プロジェクト事業



西美濃地域全体の魅力を集約し、PR力を強化し、大都市圏や海外における認知度の向上を目指し、大都市圏等でのプロモーション、情報誌の作成、ホームページの制作、海外でのトップセールス、海外の人気ブロガーの活用による情報発信等を実施します。

また、各市町の観光資源等を連携させ、回遊性を持たせるためのスタンプラリーやクーポンの発行、鉄道事業者や旅行者等と連携したパッケージ旅行等を実施します。

さらにインターネットを活用した特産品の全国的な販促や、海外の観光物産展への出展等による地元特産品の知名度向上、収益力を高める観光事業の拡充・強化を実施します。

### ㉑ 西美濃地域定住促進PR事業



西美濃地域全体の魅力を集約し、大都市圏開催の移住セミナー（東京・大阪・名古屋）等へのブース出展、PR事業を実施することで、PR力を強化し、大都市圏における認知度の向上を目指します。名古屋駅地下鉄の構内にあるデジタルサイネージへの掲載や、インスタグラム広告への掲載を行い、より多くの人々の目に触れやすいよう工夫してPRしていく。

### ㉒ 大垣地域経済戦略推進事業



大垣市を中心とした西美濃地域の経済戦略を推進するため、大垣ビジネスサポートセンター Gaki-Biz（ガキビズ）の運営、企業創業支援、経済戦略セミナーの開催を実施します。町内でも就業・創業支援の相談会を年2回程度開催していきます。

【KPI】

| 指標項目                   | 基準値（R5）  | 目標値（R9） |
|------------------------|----------|---------|
| ①西濃圏域における観光客数          | 645.4 万人 | 709 万人  |
| ②西濃圏域における宿泊者数          | 34.9 万人  | 38 万人   |
| ③西濃圏域における事業を通じた起業・創業件数 | 68 件     | 75 件    |

### 第3章 おわりに

① 池田町の大人が元気になる。

池田町に以下の2つの課題があります。1) 町のことを当たり前と捉え、良さに気づいていないこと 2) 人と人とのつながりが弱いと感じる人が多いこと。この2つを解決することで、自分達の良さに気づき、人とのつながりが強まり、池田町の産業が活性化し、池田町の大人が元気になります。

② 中高生が池田町に愛着を持ち、池田町で働くようになる。

町内の中高生が、町内の大人がいきいきと働き、暮らす姿を見ることで、自分も池田町へ恩返しをしたいと愛着を深め、町内での就業を選択肢の1つとして視野に入れるようになります。

③ 池田町で働き始めた若者が池田町に定住するようになる。

新規雇用の創出により池田町で働き始めた若者が、池田町内で、同世代及び多世代の人と様々なつながりをもてる機会が増えることで、池田町への定住に繋がります。

④ 結婚したばかりの夫婦が安心して子育てができるようになる。

結婚し、子どもが生まれた夫婦にとって、子育ての悩みを気軽に相談できる場所があることで、安心して子育てができ、2人目、3人目を産もうとなります。

⑤ 年をとっても、地域の人と繋がりながら、健康に、自宅で生活ができる。

地域の様々な施設などを活用しながら、地域の方々と語らうことで、自宅で健康に暮らせることができます。

⑥ デジタル技術の積極的な活用

既存の事業や新規事業において、積極的にデジタル技術を活用し、時代に合った施策展開をしていく。そうすることで地方創生施策の効果をより加速・展開していく。

※①から⑤の善循環と⑥の推進により、池田町民が、更に池田町に愛着を持ち、いきいきと暮らせるようになるまちを目指します。